



3月、年度の締めくくりの時。この時期、いつもわたしは児童発達支援から放果後等デイサービスへ移行するお子さんたちの新しいグループ編成に頭を抱え、また、中学・高校への進学と共にままのりあを卒業するお子さんたちの未来が輝かしいものとなるよう祈りにも似た思いで胸をいっぱいしています。

それぞれ、7年、5年とままのりあで過ごした時間は違いますが、「ありのままの自分で良いんだ!」と自信をもって羽ばたけることを願っています。

小学1年の時に「ムカつく!」と言って壁を蹴り、ふてくされていたYくん。大きな声でのお喋りが止まらなかったYくん、小学3年の時、友だちとのトラブルが絶えず、外の階段でわたしと共に座り「ダメだって分かってるのに やっちゃうんだよ」と話してくれたMくん。思い出はつきません。みんな、気持ちが落ち着き、自分を客観的に見つめる力がつき、それを相手に伝えることができるようになりました。願っていた以上の大きな成長を遂げてくれました。「ありがとう」の気持ちと共に心からのエールを送ります。

児童発達支援の終了と共にままのりあを卒業するお子さんもいます。先日あるママが話してくださいました。「わたしの一番辛い時期に、ままのりあの先生たちは共にいてくださいました。ここにすれば子どもに張り付いていなくても大丈夫、先生たちが見てくれるから。そして、わたしの気持ちを飾らずに何でも話せて、泣けて、すがる思いで毎週来ていました。」と。小学校入学を

迎え、やはりそれぞれ大きく成長したことをホントに嬉しく思います。そしてママの一番辛い時期に「寄り添ってもらえた」と言っていたことは、わたしたち職員の一番の喜びです。

卒業される皆さん、いつでも遊びに来てくださいね。ママたち、ままのりあを故郷と思って、しんどくなったらいつでも相談してくださいね。

先日、放果後等デイサービスで勤務している職員さんから、月案記録のノートの表紙に「いつもわたしたちが心がけることを書いてください♡」と言われパッと書いたわたしの思いは

『その子の「今!」を大切に。楽しく前向きに。

ひとりで考える(クールダウン)時間も必要。

「できる」「できない」ではなく、その子の思いを大切に。

「ひとりで遊ぶ」ことも大切に。周りより自分を大切に。」です

放果後等デイサービスに携わる職員は、いつもこれを心に刻み一人ひとりのお子さんと向き合うことと思います。

わたしは ままのりあに通うお子さんたちが大好きです。ママたちにも職員にも伝えていますが、「自分を大切に」できる子に育て欲しい。周りに左右されず自分の意見をしっかりもち、自分はどうかしたいのか?を考えられる子に育て欲しいのです。昨今、LINEをはじめとする いじめやうわさ話が子どもたちの世界でも後を絶ちません。

わたしは昔からうわさ話が最大の苦手です。そこにあるのは「自分の思い」ではなく「他人の思い込み」しかないからです。たぶん、ままのりあに通うお子さんたちも、うわさ話は苦手でしょう。事実、LINE等で苦しんでいる子どももいます。そんな世界から離れて... と思っても、バーチャルな友だちを失うことをおそれて



離れられないのです。

わたしは、ままのりあの子どもたちに、自分の興味ある世界を突き詰めて欲しいのです。誰か何と言おうと自分を好きになってほしい。どんなに嘲されても、自分を卑下するのではなく、自分を好きになり、自分を大切にしたいのです。

だから、『その子の「今!」を大切に。楽しく前向きに。ひとりで考える(クールダウン)時間も必要。「できる、できない」ではなく、その子の思いを大切に。「ひとりで遊ぶ」ことも大切に。周りより、自分を大切に。』をノートに刻んだのです。

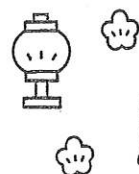
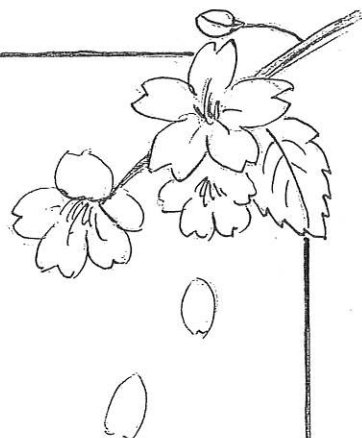
3月は14日(月)～19日(土)まで相模原にいます。またお話ししましょうね♡

お知らせ

＊ひでみ先生の予定

3月14日(月)～19日(土)

各グループに参加予定です♡



ままのりあ

〒252-0324
相模原市南区相武台7-21-5
電話 046-244-4537
FAX 046-244-4538

